

佐賀大学東洋医学研究会

知っておいて損はない

日常診療で役に立つカンポウABC

現代医学と漢方医学の融合

～日常診療で普通に漢方を使う、こんなときには漢方を～

【講師】

浅羽 宏一 先生

近森病院（高知県）
総合診療科 部長
高知大学医学部非常勤講師

平成28年

11月24日(木)

18:30～19:30

【場所】

佐賀大学医学部
臨床小講堂（3113）

参加費：100円(学生無料) 軽食をご準備しております

Part3

平成29年

1月19日(木)

18:30～19:30



われわれは西洋医学を学んでいますので、まずその立場からしっかりと評価する。その上で、西洋医学的に対応できない疾患、や漢方が得意とする領域については漢方医学的に対応する。一定レベルを超えた医者が持つ武器として、これほど強力なものはありません。知っておいて決して損はないはずですよ。

一定レベルを超えた医師が持つ 武器として、漢方ほど強力なものはありません。

私の経験からこれは持っておいて
損はないという処方のお話をしていきます

講師：浅羽 宏一 先生

近森病院総合診療科 部長 / 高知大学医学部非常勤講師



Profile

1965年 岩手県盛岡市 生まれ
1992年 高知医科大学医学部医学科卒業
1992年 高知医科大学付属病院第二内科研修医
1993年 近森病院内科
1998年 高知医科大学第二内科学助手
2004年 高知県立安芸病院内科内科医長
2006年 高知大学医学部付属病院総合診療部講師
2010年 愛媛大学医学部総合医学教育センター講師
2012年 十全総合病院内科勤務
高知大学医学部非常勤講師
2014年 十全総合病院内科内科部長
高知大学医学部非常勤講師
2015年 近森病院総合診療科部長
高知大学医学部非常勤講師 現在に至る

『漢方の専門用語は使わず
漢方の入口のところの
話をします』

学生たちに漢方を教えるとき、以前は陰陽虚実など漢方用語を使って説明してました。そうすると全く興味を示さないので、だから学生たちが興味をもって、なおかつ理解しやすい説明の仕方を勉強したんです。

代表世話人：山下秀一（佐賀大学医学部附属病院病院長 / 総合診療科教授）

世話人

安西 慶三	佐賀大学医学部内科学教授	尾崎 岩太	佐賀大学医学部保健管理センター准教授
小田 康友	佐賀大学医学部附属病院地域医療科学教育研究センターセンター長	熊本 栄一	佐賀大学医学部生体構造機能学教授
栗山 一道	医療法人素心庵栗山医院院長	権藤 久司	佐賀県医療センター好生館副館長
坂本 雄一郎	佐賀大学医学部救急医学教授	佐藤 英俊	佐賀大学医学部附属病院緩和ケアセンター診療教授
副島 英伸	佐賀大学医学部分子生命科学教授	高崎 光浩	佐賀大学医学部医療情報部准教授
寺本 憲功	佐賀大学医学部生体構造機能学教授	原 英夫	佐賀大学医学部学部長/内科学教授
平川 奈緒美	佐賀大学医学部麻酔・蘇生学准教授	藤戸 博	佐賀大学医学部附属病院薬剤部教授
宮崎 耕治	佐賀大学学長	門司 晃	佐賀大学医学部精神医学教授
横山 正俊	佐賀大学医学部副医学部長/産科婦人科学教授		

事務局：佐賀大学医学部地域医療科学教育研究センター 佐藤英俊